「東北圏広域地方計画」推進に関する情報紙

第８号（平成２２年７月）
発行：国土交通省 東北地方整備局
東北圏広域地方計画推進室
HP:http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/

『東北圏だより』

シンポジウムの開催報告

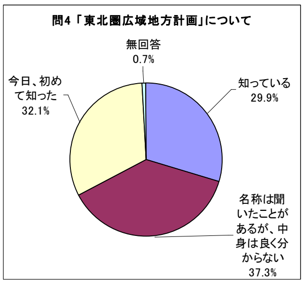
「水環境を考えるシンポジウム」は、去る６月２日（水）１３：３０から、福島ビューホテル３Ｆ「吾妻」において、約３３０名の参加者のもと、「東北圏広域地方計画協議会」（東北地方整備局、東北地方環境事務所、福島県が主体）と阿武隈川サミット実行委員会が主催団体となり、（株）福島民報社及び（社）東北建設協会の共催により開催しました。

「東北圏広域地方計画」の中の主要な施策としても謳われている「水環境の保全」は、「生物多様性」の保全とも密接な関わりを持っていることから、水環境を考える場としてシンポジウムを開催し、東北圏域に広く発信することで、「東北圏広域地方計画」の推進の一助とすることを目的として開催したものです。

福島県の内堀副知事のあいさつで開会し、第１部として塘忠顕（つつみ　ただあき）福島大学准教授から「生きものの個性とつながりを意識した水環境の保全」と題して基調講演をいただいた後、第２部のパネルディスカッションに先立ち、福島県内のⅰ）古川を美しくする会（伊達市）、ⅱ）逢瀬川ふれあい通り実行委員会（郡山市）、ⅲ）須賀川に清流を取り戻す市民の会（須賀川市）、ⅳ）ふるさとの川・荒川づくり協議会（福島市）の４団体から、水環境保全に対する具体的な活動事例についてご報告いただきました。

その後、塘准教授がコーディネーター、瀬戸福島市長、青山東北地方整備局長、小林東北地方環境事務所長がパネリストとなり、「豊かな水環境・生物多様性の保全のために」をテーマにパネルディスカッションが行われ、事例報告への感想やこれまでの取組、今後の取組について、幅広く有意義な意見交換が行われました。

「水環境の保全」、「生物多様性の保全」の啓蒙を図ることが出来たことと、アンケート結果問４から「東北圏広域地方計画」の周知にも大きく寄与したシンポジウムであったことをご報告いたします。



▲アンケート結果

▲基調講演　塘准教授

▲パネルディスカッション

広域地方計画に係わる動き

○第４回東北圏広域地方計画協議会検討会議の開催報告

第４回東北圏広域地方計画協議会検討会議が去る６月２１日に仙台第４合同庁舎共用会議室で開催されました。昨年８月の計画決定以降では初めての開催です。

▲検討会議の様子

今回の検討会議では、計画に位置付けられた広域連携プロジェクトの平成２１年度フォローアップ結果についてプロジェクト毎に特に成果が現れた部分を中心に説明、今年度の取組スケジュール、高橋東北経済連合会会長就任に伴う当協議会の会長変更についてなどについて提案されました。

議題に対して出席者からは特に意見もなく、了解を得られました。東北農政局から今年度に農商工連携や地産地消などについて、活発化していくために組織を立ち上げて取り組んでいく旨の非常に前向き

な発言があったほか、意見として、アンケート結果を踏まえて「地域医療支援に対する圏民の期待が高いことから配慮して取り組む必要性があるのではないか」といったものや「計画の内容を知っている圏域住民が２％程度にとどまっていることから広報活動にも力を入れていく必要性がある」といったものが出されました。

検討会議開催に先立ち６月１１日に幹事会を開催し、内容について事前調整をさせていただいたほか、今回のフォローアップ作業に際してご尽力いただいた各構成機関関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

今回の、検討会議で提案された「東北圏広域地方計画のフォローアップ結果」については、東北圏広域地方計画ホームページ（http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/top.html）上で公表しております。

○取組推進ＰＴ（プロジェクトチーム）全体会議の開催報告

▲ＰＴ全体会議の様子

６月１１日、東北地方整備局大会議室において、第２回取組推進ＰＴ（プロジェクトチーム）全体会議が一般公開で開催されました。

はじめに、平成２２年６月現在で設立済である８つの取組推進ＰＴの主査機関から、平成２１年度の検討状況及び平成２２年度の取組予定が、また、設立を目指して準備中の取組推進ＰＴの主査機関から、今後の設立に向けた考え方、スケジュール等が報告されました。次に、事務局より未設立の取組推進PTについて、設立に向けた考え方が提示されました。その中で今後設立予定のＰＴは「既存の協議会等を活用できる」こと、また、未設立のＰＴについては「平成２２年度内の設立を目指す」ことが確認されました。

次回の取組推進ＰＴ全体会議は来年１月頃の開催予定で、平成２２年度の検討内容等について意見交換を行う予定です。

取組推進ＰＴ（プロジェクトチーム）の動き

国際物流PT第２回会議

▲取組推進ＰＴ会議の様子

国際物流プロジェクトチーム（以下、国際物流ＰＴ）は、「グローバルゲートウエイ機能強化プロジェクト」、「環日本海広域交流圏の形成プロジェクト」、「農業・水産業の収益力向上プロジェクト」について、国際物流の観点から計画を推進することを目的とし、国、県、市、町等の２１機関により平成２１年１０月３０日に設立しています。

平成２２年６月３日、東北地方整備局会議室において、国際物流ＰＴ第２回会議が開催されました。はじめに、情報提供として、①東北地方整備局港湾空港部「港湾物流企画室」及び東北国際物流戦略チームの取り組み、②東北地域農林水産物等輸出促進協議会の取り組み、③国際海陸一貫運送コンテナの自動車運送の安全確保に関する法律案についての説明が行われました。

会議では、昨年度実施したアンケート結果を受けて、各機関が想定する港湾取扱貨物量の増加やコンテナ航路誘致に向けた連携方策について情報を共有し、さらなる連携の可能性について意見交換が行われ、活発な議論がなされました。

引き続き、参加機関の取り組み等について情報交換をしながら、東北圏の国際物流について長期的な視点から議論していくこととします。

編集後記

これから暑いシーズンに突入となりますが、時を同じくしてあの騒がしい○○族も活発に動き出す時期となります。道路沿いに居を構えている人にとってはとても迷惑千万なものです。有効な解決策はと考えるに・・・。ありました良い案が！！市販のバイクをすべて騒音の出ない電動バイクに切り替えるのです。バイクから爆音がしなければ○○族もおとなしくなるのでは。夜は静かで、地球にもやさしく。まさに一石二鳥だと思いませんか。（M・I）

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp